

気仙沼への

第4号
2009.11



作：尾形 将

発行：地域活性化研究会 気仙沼ビューロー
東京都台東区東上野6-1-1 (社) 漁業信用基金中央会内 地域活性化研究会
TEL: 03-3841-4035 E-mail: kesenumabureau@yahoo.co.jp

当団体は気仙沼地方の縁者が、ふるさとの発展に寄与することを
目指し設立されました。参加資格はありません。気仙沼へ思い入れ
を持つ方であればどなたでも参加になれますので、皆様のご参加を
心よりお待ちしております。

【新メンバー】 小山 智善

観光客の視点で気仙沼を語る……………	1
気仙沼の魅力的な景色……………	2
古里紀行……………	4
私は気仙沼が好きだ(2)……………	5
拝啓 気仙沼様……………	5

観光客の視点で気仙沼を語る

小山 利英子

本吉町と気仙沼市との合併おめでとうございます。子供の時に大谷海岸に海水浴に行った楽しい思い出は忘れることが出来ません。東京に戻る気仙沼線の車窓から見るその景色は私の心の中に焼き付いています。

さて、気仙沼出身の俳優・藤田信宏さんの「蒼空(そうくう)」という舞台はご覧になりましたか？私は東京で観ました。東京も満席です。その満員のお客さんの心をギュッと掴んで熱演する藤田さんと劇団の皆さん、すばらしいですね。「特攻隊」をテーマにした舞台。それを終戦記念日に地元・気仙沼にて「劇団旗揚げ公演の千秋楽」を飾ったことは感無量だったでしょうね。

先の戦争は、わずか数十年前の話です。

「お国のため」といって戦ったことの反省から、日本は極端に「国のため」という言葉を嫌って生きて来たように思います。でも人間は弱いもので「自分のため」で始めたことは案外とも

ろく崩れてしまいます。「自分ではない誰か」が心を支えます。

少し前まで「会社のため」という言葉がありました。その言葉によって人の嫌がる仕事もやってのけ、日本企業は伸びたと思います。けれど今は「会社のため」なんて言う人を見たことはありません。「そもそも会社って何？」という話になり、「会社は誰のものか？」と面倒くさい方向に向かうのがオチです。

ところが、です。

ところが、この「気仙沼への風」を書いている方々は、何を思ったか「気仙沼のために何かお役に立てれば」と本気で思っています。私もその一人です。いったい何がそうさせるのでしょうか？

ふるさとを離れた我々が目をつぶると懐かしい風景が目の前に現れます。それを守っていく使命感を感じたりして。おかしいですね。だっただらうと気仙沼にいたらっちゃん。そうなん

ですが、そういう気持ちは案外とその土地を離れたことで起きてくるものかもしれません。

そんな我々がふるさとに形として出来ることは「ふるさと納税」です。調べてみますと「ふるさと納税 全自治体特典一覧（2009年版）」というページがあります。「ふるさと納税による特典」をわかりやすく表示。なんと石巻市では3万円以上の納税者にはすごい特典があります。特典は是か否かという議論もあるとは思いますが、特典合戦になるのもいかなものかとは思いますが、各自治体が様々な工夫を始めたことはすばらしいことだと思います。

私は特典よりも、我々の税金の使い道を明確にして欲しいと願います。面倒な手続きをして

支払う税金が、なんだかよくわからないことに使われてしまってはつまりません。「ふるさと納税はこれに使いました」と明確にして頂けると、来年、再来年へと続けていける気がします。

もし可能であるならば、その税金を公共のトイレを美しく保つために役立てて頂けないかと希望します。気仙沼が観光に力を入れるためには、何がなんでも公共のトイレが美しく、そして適切な数があることが大事だと思います。特に旅行が大好きな年配の御婦人には重要項目です。観光客の視点は案外とそんなところにもあるのではないのでしょうか。

(おやま・リエこ) 昭和36年生まれ。テレパス(株)代表取締役。WEBアプリケーション、システム開発を手がける。

気仙沼の魅力的な景色

尾形 将

私は約8年前の56歳の時に思い立って、子供の頃に好きだった絵を正式に習い始めました。絵を描くのは気仙沼高校1年の美術の授業以来で、実に40年振りでした。

振り返って見ますと、子供の頃の私は小学校の絵の時間、そして中学、高校の美術の時間を通じて絵を描くことが大好きでした。

特に教室から外に出て自然や街の風景を描く写生は本当に魅力的で楽しい時間でした。

そんな私が4年前の60歳の時から大好きな故郷気仙沼の風景画も好んで描き始め、以来毎年東京の上野や銀座の展覧会で作品を発表しています。

子供時代から64歳の今日迄、これ程に私を魅了して止まない故郷気仙沼の風景は、実に多彩で他に比類無き魅力に溢れた絶景です。

画家となった私の目から見た気仙沼の魅力、そして特にお気に入りのスポットを紹介しまし

よう。

気仙沼の魅力は何と言ってもその典型的なりアス式の海洋美でしょう。

姿のいい山々や半島、岬が幾重にも重なり合って波静かな内湾や入江そして白砂青松の浜を形成。

湾の入口には巨大な防波堤の如く大島が横たわり、湾の奥深くには日本有数の規模と設備を誇る漁業基地気仙沼港が。そして秋になると数多くの鮭が産卵のために遡上する川が存在。

他方外洋に面しては波が激しく砕け散り、巨岩、奇岩が勇壮な多くの荒磯の存在、等など。実に変化に富んで魅力的な景色の連続です。

今回これら数多くの魅力的な景色の中から、私が特に気に入っている2スポットをご紹介します。

(おがた・まさし) 昭和20(1945)年生まれ。気仙沼の風景画などを描き、2008年上野の森美術館主催「アトリ工展」入選。銀座、上野の画廊で個展を開催。

①安波山々頂からの眺望

太田で生まれ育った私が子供の頃から慣れ親しんだ一番の場所は安波山です。社会人となり東京で働くようになってからも、毎年の帰省の際、必ず真先に上るのは安波山です。

昔から『鼎浦』と呼ばれ波静かな天然の良港、日本有数の漁業基地、そして陸中海岸国立公園の南玄関口を抱いた気仙沼湾をこの山頂から眺めると、遠くは大島越しに雄大な太平洋が、岩井崎そして遥か彼方に金華山も望めます。西に目を転じると手長やつつじで有名な徳仙丈等北上山系の山々が、北側には鍋越山の向こうに氷上山そして五葉山までもが望めます。

そして眼下には思い出溢れる気仙沼の街が広

がっており、お神明さん、陣山、柏崎、船着場、小・中学校、魚市場、浪板の造船場等々。懐かしさ一杯で、いつも心が癒され元気になります。

近年麓の上の方まで自動車道路が通じ登山道も整備されましたが、天然記念物のカモシカが棲み付くようになる等、自然が回復してより豊かになっており、これ以上の開発は望みません。

それにしても市民の方々だけでなく、もっとPRして大勢の観光客にも安波山へ登ってもらい、山頂からのこの素晴らしい眺望を楽しんで欲しいものです。気仙沼観光の目玉の1つともなります。

②大島の亀山々頂からの眺望

気仙沼の船着場から船に乗って、途中カモメと戯れながら一路大島へ。浦の浜からリフトに乗り替え10分程で山頂へ到着。船とリフトを乗り継ぐこのアプローチが先ず楽しいのです。

リフトを降りて5分ほど登ると225メートルの亀山々頂展望台です。

ここからの眺めは南、北、西と300度程の大眺望で、息を呑むような素晴らしさです。

先ず南側の景色は眼下に『緑の真珠』と云われる大島のほぼ全景が見渡せて実に興味深い。田中浜、小田の浜、竜舞崎等主要観光スポットです。そしてこの島を大きく包む太平洋の大海原を遥か彼方の水平線まで圧倒的なスケールで眺められます。実にダイナミックで男性的な景色です。

北側の景色も圧巻。唐桑半島が女性的な姿で眺められます。リアス式海岸特有の優美で穏やかな曲線美が堪能出来ます。季節的には新緑の淡いベールを纏った春の装いが最高でしょ

う。

容姿端麗な早馬山越しに岩手県の広田湾、陸前高田、大船渡の山々そして遥かに綾里崎、五葉山も望まれ、実に晴れ晴れとして心癒される風景です。



故里紀行

村上 洽視

8月7日(金)東京は曇りで蒸し暑い。義姉の新盆に併せて、ささやかな夏休みをとり12時02分発「はやて17号」にて一路故里気仙沼大島に向けて上野駅を出発。

実は一関14時46分発のスーパードラゴンに接続するため「やまびこ51号」を希望したが、ちょうど、仙台七夕と重なり満席とのことであった。そこで、とても優しい(?)駅の窓口の方から後発の「はやて」に空きがあり、仙台で追い越すので、「やまびこ」に乗り換えることをすすめられた。

予定どおり14時14分に一関着。大船渡線「快速スーパードラゴン」車内にて待つこと20分。発車間際に熟年の5~6名の女性のグループが息を切らしてどっと乗り込んできた。どうも在来線を利用して仙台方面(推測)から廻ってきたようである。そのうち、2名と同席となり、横目で旅程表をうかがうとこれから陸前高田方面に向かうらしい。

定刻、14時46分一関を発車。しばらくして一人が小さい声でささやいた。「スーパードラゴンと言うから速いと思ったらこれでも快速なのねえ〜」と。思わずこみ上げてくる笑いをこらえた。自分も結構気の短い方であるが、慣れとはおそろしいもので、帰省する自分にとってもっとも速く効率の良い交通アクセスと思っていたが、観光目的の人たちにとっては不満の残るスピード感のようだ。

また、わざわざ陸前高田に行かなくとも気仙沼にもいいところがたくさんあるのにと思いつつ、まだまだ気仙沼方面へのPRが足りないことを痛感させられた。ついでに、二人の会話

の中で、どうも気になったのが、「巖美溪」と「狛鼻溪」の区別が曖昧であることだった。(15時59分気仙沼着)

8月8日(土)あいにく曇り、小田の浜海水浴場に足を運ぶもこのところの長雨でしかも気温23度と海水浴にはちょっと寒すぎる。客が少ないものの駐車場には県外(関西方面も含む)からの車が見受けられた。車で観光客らのためにも一日も早く「大島架橋」の実現を期待。

夜、叔父の家でカツオ・ホヤ・ホタテ・猛火鮫の心臓・・・に舌鼓をうつ。焼酎のはかどること。勿論マグロのトロも美味であるが、なんと言っても気仙沼はカツオの水揚げ日本一だし、フカヒレに次ぐブランド(秋口の戻りカツオは格別)としてももっともっと全国に発信してはと改めて思った。

8月9日(日)前日に引続き、曇り時々小雨。いよいよ帰京だが仙台まで直通の気仙沼線(15時50分発南三陸4号)を利用することとした。あいにくの空模様であったが、陸前階上を過ぎたあたりの窓から眺める大谷海岸一帯はリアス式特有の風景ですばらしく、天気さえ良ければと悔やまれることしきり。

仙台からの新幹線の中で40年前に思いを馳せた。正月休みの後、気仙沼始発の直通上野行き(夜行)列車で帰京し、翌朝そのまま出勤したこと。当時に比べ、アクセスが格段に便利になったことを感じながら・・・20時30分上野着。

私は気仙沼が好きだ（２）

千葉 一宏

昨年の9月東京、目黒区のさんま祭りを見にいった。現地に到着したのが10時頃、もう会場の脇を流れる川を取り囲むように長蛇の列、目黒区民が何百メートルも並んでいる、気仙沼のさんまを待って並んでいるのだ、目黒区民にはこのさんま祭りが定着し、溶け込んでいる様だ、並んでいる人達の熱気にあてられ会場に入ると、懐かしい太鼓の音が聞こえてきた、近づくと何か全身がゾクゾクしてその場の立ち止まって聞き入ってしまった、懐かしいお祭りの太鼓の音である（後で実家に聞いたら「通り」とか言っていた）、なんと素晴らしい音であろうか、聞いているうちに涙が出てきた、太鼓のグループを取り囲んでいる人たちは私と同じ気仙沼出身であろうか、皆笑顔で無言で聞き入っている、太鼓の打ち手は飛び跳ねながら全身で気仙沼のお祭りを表現し、会場を盛り上げ自らも楽しんでいる、何と心地良い響きであろうか、気仙沼にはこんなすばらしい伝統芸能があったのだ、あらためて感じた。

太鼓チームはその他何曲か披露したが私がゾクゾクし涙がでたのは只1つお祭りの時の「通り」

だけ、これは別格であった、ありがとう。

所はかわって北海道に江差追分と言う民謡がある、2分40秒位の唄で「アー」とか「ウー」とかが多く、言葉はごく少ない唄であるが毎年全国大会があり、その年の名人を決めている、江差追分は民謡の別格と言われるくらい格調の高い唄だそう、それはその唄を愛する地元の心ある人達が自分達で唄を磨きあげ全国に発信し、地元だけでなく全国からの応募を受け入れた結果であり、形が無くても皆で創りあげれば宝物をつくる事が出来るものだと感じた。

話は戻って気仙沼でも港祭りの時に打ち囃子連が港を取り囲み1000台もの太鼓を打ち鳴らすと聞く、すごい事だと思う、コンクールもあると言う、大賛成である、私の勝手な思いであるがこの太鼓の「通り」だけの大会を大段的に磨きあげれば全国に発信する気仙沼の後世に残る宝物に成る様な気がするのだが如何であろうか。太鼓も気仙沼の輝く顔として全国区になるとうれしい。

（ちば・かずひろ）昭和17年生まれ。チバプロダクツ（株）代表取締役。

拝啓 気仙沼様

すがわらひろみち

季節は秋になり、さんまやかつおがおいしくなるころですね。ひさびさのお便りでまたぞろ勝手な意見を言わせていただきますことをお許しく下さい。

さてさて、小生、気仙沼在住の友人と一緒にネットショップを開いたしておりますことは以前お知らせいたしましたと思います、え、お知らせしてない、こりやまた失礼を。

そうなんです。高等学校の同級生とワカメを中心に海産物一般（なんとおおざっぱな）の商いをさせていただいております。で、気が付いたことをひとつふたつ。

まずは、気仙沼ブランド!の広がり方は住んでいる皆さん方が思っているよりずうっと広く定着していますよ、ということをお知らせしたい。

先般「気仙沼ほるもん」をラインナップに加えたんですが、即買い物して下さった方々がいましたよ。正直わたくし本人は食した経験を持ち合わせていなかったの、如何なものかなあと思っていたんですが、知っている人は知っているんですね。

時を同じくして？岡山に住んでいる義理の妹からは、気仙沼がどこにあるかは知らねども気仙沼の食材について聞いてビックリ、フカヒレ、さんま、もどり鰹・・・っと、いろいろ次から次へとご近所の奥様の口から、その特産物の名が出てきて、これはおにいさん、もっと商売に力を入れたほうがいいわよ、って、激励のメールが来たほどです。

さて、商売のツールについて。

このビューローでもなんども取り上げられたことですが、見回せば気仙沼市内で、どれだけの業者のかたがたが、この便利なインターネットを利用してご商売をされているんだろうかと、わがネットショップの「ライバル」を探してみるにつけ首をかしげてしまうばかりです。一時期は結構な件数がヒットしていた記憶があるんですが、現在あまりお見かけしません。ビックリするほど費用がかかるわけではありませんので、ちょびつとずつでもインターネットを活用されたいかがでしょうか。あ、ヤフーのオークションで随分と売り上げを伸ばしておられる御仁も居られることは小耳にはさんでおります、が。

で、一步すすんで？気仙沼市や商工会議所の

HPとは別に、楽天のショッピングモールとまでは行かないまでも、皆で海産物や観光、運輸などなど“気仙沼ショッピングモール”を作っ、全国的に宣伝をされるのはいかがでしょうか。当ビューローの小山利英子さんはそちらのプロですから、もし必要とあれば、ひと肌もふた肌も脱いでいただけるのではないのでしょうか（すいません、相談なしに勝手なことを）。

余計なことをって叱られるかもしれませんが、もう一つ。

「さんりく気仙沼」という概念とは別に、岩手県の大船渡あたりから陸前高田、気仙沼、本吉町、志津川と、「三陸観光ベルト地帯（仮称）」の構想はいかがでしょうか。自治体レベルでも無論ですが、役所は後方支援部隊になってもらうことにして、商売をする仲間としての共同体をこしらえて日本全国から観光客をよびよせるフェスティバルを年一回やってみてはどうか。たとえば、若い人向けには、使わなくなってしまった船をちょこっと借り受けて沿岸クルーズをして、夕餉には漁船の甲板でもって漁師料理でおもてなし。お年寄りには、北から南に向けて、観光地めぐりとともに地元工場産！お菓子やお酒、あるいは、浜々の産物を土地独特の調理方法でご紹介するバスツアーなんてのはどうでしょうか。小生など気仙沼地方を離れてしまってから随分たつので、どこにどれほどの宝が眠っているのかわかりませんが、住んでいる方々が探せばどんどん面白いものが出てくるのではないのでしょうか。

勝手なことを思いつくままに書いてしまいました。とりあえず現実問題として、われらのネットショップがもっと繁盛するような仕掛けをいろいろ考えています。うまくいったらまたこの場をおかりして発表することとしてペンをおきます。ではまた。 敬具

（すがわら・ひろみち）昭和35（1961）年生まれ。仙台市在住。スガワラ保険サービス代表、NPOふるさとテレビ仙台支局長。

皆様のご意見・ご感想をお待ち申し上げます

ご意見・ご感想、素朴な疑問から願いまで、皆様のお声をお待ち申し上げます。気仙沼地方の課題について、微力ですが一緒になって解決できれば幸いです。メールにて承ります。

メールアドレス kesenumabureau@yahoo.co.jp

※プリントアウトしてご活用ください。

地域活性化研究会 気仙沼ビューロー支援者

当団体をご支援いただく方々をご紹介します。(2009年10月現在 / 順不同 / 敬称略)

臼井賢志 気仙沼商工会議所 会頭
斉藤徹 気仙沼市観光コンベンション協会 会長
足利健一郎 (株)足利本店 代表取締役社長
川村賢壽 (株)かわむら 代表取締役社長
亀谷寿朗 福德漁業(株) 代表取締役社長
菅野卓夫 (株)気仙沼青果物流通市場 代表取締役社長
佐藤雄二 (株)カネダイ 代表取締役専務
和賀井達夫 気仙沼ほてい(株) 代表取締役副社長
内海哲郎 (有)菓子舗うつみ 代表取締役社長
馬場国昭 (有)からくわクリーン 代表取締役

地域活性化研究会 気仙沼ビューローについて

当団体は気仙沼地方と縁を持つ者たちが、それぞれが得意とする分野からの提言や活動を行い、気仙沼地方の発展に寄与できることを目指し、平成20年11月に設立されました。今後、テーマを絞った提案や勉強会を行う予定ですが、まだ設立されたばかりで夢は膨らむばかりです。気仙沼地方が未永く発展できるよう、外部からサポートできる最大限の事業をすすめていきたい、そんな風に考えております。

なお、参加資格はありません。気仙沼へ思い入れを持つ方であればどなたでも参加になれますので、皆様のご参加を心よりお待ちしております。

【参加メンバー】(2009年10月31日現在 ☆印：新メンバー)

☆ 小山智善	佐々木栄作	近藤章	小山利英子
小野寺徹也	尾形将	大森郁夫	川村浩
畠山信彦	貝塚文一郎	村上洽視	畠山明
中村勝子	日出英輔	坂井素美	岩手裕美子
佐藤晴男	畠山朔男	菅原洋道	佐藤恭子
千葉一宏	佐藤則好	高濱悟	武山健自